

第 36 回ルーメン研究会 (シンポジウム)

「ルーメン発酵を考慮したとうもろこしサイレージの高度利用技術とその普及」

日時：平成 20 年 3 月 28 日 (金) 13:15~17:00

場所：常磐大学 (茨城県水戸市) R 棟 004 ミニシアター

アクセスは日本畜産学会ホームページ参照

<http://nichiku.agr.ibaraki.ac.jp/koutsu%20anai.htm>

13:15-13:40 総会

13:40-13:45

開会の挨拶：板橋久雄会長

シンポジウムテーマについて：小林泰男 (コンビナー)

13:45-14:20

大坂郁夫 (道立根釧農試)

「飼料用とうもろこしの高度利用とその課題」

14:20-14:55

小林泰男 (北大院農)

「破砕処理とうもろこしサイレージ：ルーメン内消化と関連細菌」

14:55-15:15 休憩

15:15-15:50

谷川珠子 (道立畜試)

「破砕処理とうもろこしサイレージの飼料特性および乳生産への影響」

15:50-16:25

古川研治 (十勝農協連)

「生産現場における破砕とうもろこしサイレージ有効活用の必要性」

16:25-17:00

総合討論

18:00~懇親会 (栄養生理研究会と合同で開催予定)